

接続設定 ハイブリッド

| メーカー | 機種 | 観測条件 | ページ |
|--------|-----------------|------------|---------------|
| TOPCON | HiPer VR (※1) | VRS or RTK | 接続設定 ハイブリッド-2 |
| | GR-5 | | |
| | HiPer HR (※1※2) | | |
| | HiPer SR | | |
| | HiPer V (※3) | | |
| | HiPer II (※3) | | |
| SOKKIA | GRX3 (※1) | | |
| | Sokkia ATLAS | | |
| | GCX3 | | |
| | GCX2 | | |
| | GSX2 | | |
| | GRX2 (※3) | | |
| | GRX1 (※3) | | |

(※1) VRS観測では「セルラー（携帯通信モジュール）機能」は使用できません。

(※2) 「TILT（傾き）機能」は使用できません。

(※3) RTK観測では「ALINCO」または「DIGITAL ALINCO」の無線内蔵機種のみ接続可能です。裏側のシールを見て、「ALINCO」または「DIGITAL ALINCO」の表記があるか確認してください。表記が無い機種は接続できません。

【ハイブリッド観測 準備物】

| NO | 種類 | 条件 | 備考 |
|----|----------------|-----------------------------|--|
| ① | TS | TOPCON・SOKKIAで自動追尾ができる機種 | GT、DS-200i、PS、LN-100、iX、DX-200i、SX、SRX |
| ② | 三脚 | TS用 | |
| ③ | GNSS受信機 | ネットワーク型RTK観測できる機種に限る | 下記 【TREND-FIELD観測条件設定】参照 |
| ④ | FZ-G1 or CF-20 | 後でスタックを入れたものはNG | |
| ⑤ | TREND-FIELD | | |
| ⑥ | 360°プリズム | | |
| ⑦ | アタッチメント | ハイブリッド用のアタッチメント | ミラーとGNSS受信機をジョイントするパーツ |
| ⑧ | RTKポール | | |
| ⑨ | ジェノバのID・パスワード | VRS観測するための、ジェノバのIDとパスワードが必要 | ジェノバ以外はNG |
| ⑩ | 基準点2点 | 公共座標 | TS用の器械点・後視点 |

* ハイブリッド観測は、TOPCON・SOKKIAのTSとGNSS機のみ、動作します。

【TREND-FIELD 観測条件】

| GNSS | | |
|--------|--------------|------------------|
| メーカー | 機種名 | 観測条件 |
| TOPCON | HiPer VR | VRS or RTK |
| | GR-5 | |
| | HiPer HR | |
| | HiPer SR | |
| | HiPer V | |
| | HiPer II | |
| SOKKIA | GRX3 | |
| | Sokkia ATLAS | |
| | GCX3 | |
| | GCX2 | |
| | GSX2 | |
| | GRX2 | |
| | GRX1 | |

| TS | |
|---------------|------|
| メーカー | 動作設定 |
| TOPCON・SOKKIA | 自動追尾 |

【ハイブリッド観測手順】

1 ジェノバとの通信に「インターネット」を使用する場合は、スマートフォンのWi-Fiテザリングを利用します。

スマートフォンのWi-FiテザリングをONにして、FZ-G1のWi-Fiの接続先に、スマートフォンを指定します。
(FZ-G1でインターネットが見られる状態にします。)



※CPTransを使用する場合は、本操作は必要ありません。

2 TREND-FIELDを起動します。

3 [メニュー] - [汎用1] - [ページ] - [作業情報] から座標系を設定します。
* 1: TREND-FIELD初回起動で、かつ各観測を実行した時、自動的にこの設定が表示されます。

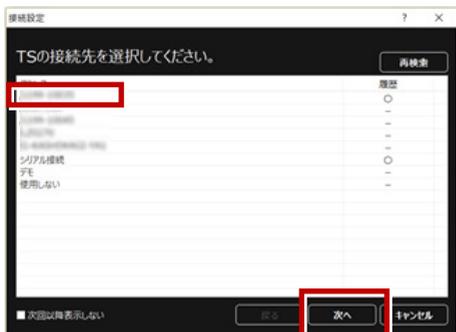
* 2: 1度設定を行って頂ければ、次回以降この設定は保持されます。

A screenshot of the '作業情報' (Job Information) screen in the TREND-FIELD application. The screen is dark-themed with white text and input fields. The '座標系(C)' (Coordinate System) field is highlighted with a red box and contains the value '6'. To its right is a button labeled '座標系選択' (Select Coordinate System). Other fields include '工事番号(N)', '現場名(G)', '備考1(1)', '備考2(2)', '計画機関名(P)', '西暦(Y)' (2017), '作業規程名(W)', '縮尺(S)' (200), '回転角(A)' (0.0000 度), and '測地系設定(K)' (世界測地系 (測地成果2011)). At the bottom are buttons for 'OK', 'キャンセル', and '距離補正設定(D)'. A '距離補正' (Distance Correction) button is also visible.

4 現況観測を実行します。

▼ 次頁へ

- 5 TSの接続先で使用するTSを指定して
[次へ] を選択します。



- 6 GNSSの接続先で使用するGNSS機器を
指定して [OK] します。



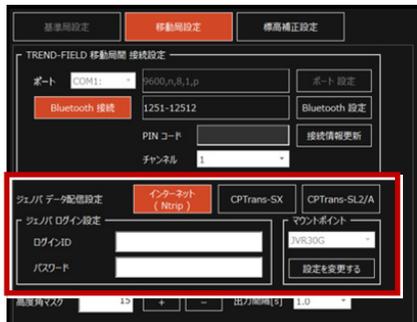
- 7 [メーカー] [機種] [観測方法] に
ついて、使用するGNSSに該当するもの
を選択します。



- 8 [GNSS詳細設定] を選択します。



- 9 [ジェノバデータ配信設定] を選択します。
CPTransを使用しない場合は、[イン
ターネット] を選択します。
[ジェノバログイン設定] を入力します。
[マウントポイント] はそのままにします。



- * CPTrans-SXを使用する場合は、
[CPTrans-SX] を選択します。
- * CPTrans-SL2/Aを使用する場合は、
[CPTrans-SL2/A] を選択します。

▼ 次頁へ

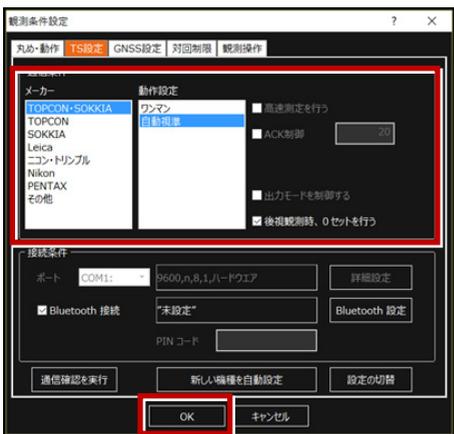
- 10 「ジオイド変換」を選択し、ジオイドモデルファイルを指定します。
- * ジョイドモデルファイルは、あらかじめFZ-G1のどこかにコピーしておいてください。
 - * ジョイドモデルファイルは、国土地理院のサイトからダウンロードできます。

- 11 [OK] して [GNSS詳細設定] を閉じます。



- 12 [TS設定] タブを確認します。
- [メーカー] : TOPCON・SOKKIA
[動作設定] : 自動視準
または
[メーカー] : SOKKIA
[動作設定] : 自動視準

- 13 [OK] して [観測条件設定] を閉じます。



- 14 GNSS受信機への初期化が始まります。



- 15 初期化が完了したら、TSの器械点・後視点を設置します。
該当する器械設置方法を選択します。

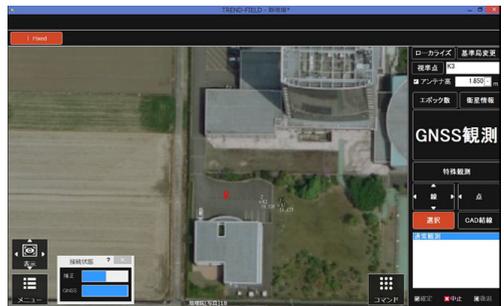


- 16 器械点、後視点をCAD上から指定します。
(ここでは「通常観測」で説明します。)

- 17 器械高、目標高を入力します。

- 18 TSで後視点を視準して、観測します。

- 19 ハイブリッド観測が始まります。
- * 配信業者は、ジェノバのみ対応します。
 - * 地理院タイルを背景に表示すると、より分かりやすくなります。



—メモ—